

第1 新潟県教育委員会施策体系及び平成22年度主要事業

○ 基本方針

教育委員会では、「知性に富み、心豊かで、たくましい、活力に満ちたひとづくり」を基本目標として、その実現に向け、各施策を展開しております。

平成22年度当初予算では、「学校教育の本質」に関わる予算として、まず、子どもたちの個性や能力の伸長、新学習指導要領への対応、深めよう絆県民運動など、「学力の向上」や「豊かな心の育成」に必要な予算について、最優先に確保しました。

併せて、教育環境の整備では、子どもたちが一日の大半を過ごす学校に関して、老朽化した県立学校の改築や耐震改修を計画的に進める予算についても、所要額を計上しております。

また、「トキめき新潟国体」後の継続的な競技力向上対策や、世界文化遺産の国内候補である佐渡金銀山遺跡の登録に向けた準備など、県の重要施策の推進についても所要額を計上いたしました。

1 子どもたちの生きる力をはぐくむ教育の推進

(子どもたちや社会の未来を拓く教育の充実)

- ・ 多様な教育活動の展開や児童生徒の社会性を育成するため、望ましい教育環境の整備に向けた小・中学校の取組を支援します。
- ・ 夢に向かいチャレンジする若者を育成するため、実践的な技術・技能の習得やキャリア教育の推進、志望する大学等への進学に向けた学力向上など、生徒一人一人の個性や能力を伸長し、進路実現を支援します。
- ・ 新学習指導要領の先行実施に伴い、小学校の授業時間の増加に対応した非常勤講師を配置し、学習指導要領の理念である子どもたちの「生きる力」をはぐくみます。

(豊かな人間性や社会性をはぐくむ教育の充実)

- ・ 3年間のいじめ根絶県民会議の組織と運動の成果を生かしつつ、児童生徒間の「絆」を深め、社会性を育成するとともに、スクールカウンセラーなど学校や地域における相談指導体制の充実を図り、いじめや不登校、暴力行為等の解決と未然防止に取り組みます。
- ・ 放課後に地域の教育力を生かして、子どもたちに体験や交流、学習の機会を提供する拠点づくりに取り組む市町村への支援を拡充します。

(健康でたくましい心身をはぐくむ教育の充実)

- ・ 食育の指導体制の強化を図るため、栄養教諭の配置を拡充します。

(子どもたちの学びを支える学校教育環境の整備)

- ・ 県立学校の改修、耐震補強及び全面改築を計画的に進め、教育環境の維持向上を図ります。

2 生涯にわたる「学び」「躍動」「感動」を支える基盤整備

(生き生きと学び続ける生涯学習環境づくり)

- ・ 県民の多様な学習ニーズに応えるため、県民の役に立つ図書館づくりを進めます。

(競技スポーツの振興)

- ・ 男女総合優勝に結実した「トキめき新潟国体」への取組と成果を一過性のものとしなため、引き続き競技水準の向上と本県スポーツの振興を図ります。
- ・ 平成24年に本県を中心とした北信越5県で開催される全国高等学校総合体育大会(インターハイ)に向けた準備を進めます。

(心に潤いをもたらす芸術文化の振興と地域文化の継承)

- ・ モーリス・ユトリロ展(近代美術館)、ビアトリクス・ポター展(万代島美術館)等を開催するなど、質の高い芸術鑑賞機会を提供します。
- ・ 佐渡金銀山遺跡の世界遺産登録に向け、佐渡市が行う文化財の調査研究を支援するとともに、国内外への情報発信や県民意識の高揚を図ります。

3 震災への着実な対応と災害に強い学校づくり

- ・ 中越大震災、中越沖地震で被災した児童生徒の心のケア等を支援するため、引き続き、教育復興加配教員を配置するとともに、学校の耐震化を進め、災害に強い学校づくりに努めます。